学校番号	2003

平成３１年度　芸術科〔美術〕

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１，３年次
使用教科書	高校美術１　（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術を通して、対象を正確に見ることや、自分の考えを形にして表現すること、また、作品を創作するための各種の技法を学習します。

２　学習の到達目標

多様な表現方法を学習することで、美術に対する興味や関心を深め、創造する楽しさや感動を味あわせる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	課題に関心を示し、作品制作に意欲的に取り組み、完成させる。	創造力を発揮して、課題作品をよりよくするために創意工夫を重ねる。多様なアイデアを出しながら、最良のものを創造する。	作品に応じて、完成させるために必要ないろいろな技能を身につける。その技能を的確に使用して創作する。	自分の感性によって、それぞれの作品が持つ多様な個性や魅力を鑑賞する。
評価方法	制作の様子 完成した作品	アイデアスケッチ 制作の様子 制作中の作品 完成した作品	制作の様子 制作中の作品 完成した作品	鑑賞する態度 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術の授業について	鑑賞　絵画 ・オリエンテーション 教科書の作品を鑑賞し、また1年間の授業について説明、学習イメージを持つ。	○			○	a:美術の多様な表現に関心をもち、授業への意欲を持つ。 b: c: d:いろいろな美術作品を鑑賞し、理解を深める。	学習活動の様子
	クロッキー	・人物クロッキー 毎時間の最初に5分間の人物クロッキーをする。	○	○	○		a:意欲的にクロッキーに取り組めているか。 b: 人物を画面内に収めるには、画面全体を構成する力がいる。 c:クロッキーの特色を理解し、鉛筆の線をしっかり使えているか。 d:	制作の様子 作品
	15の形による構成	・画面構成と色彩基礎 15の四角形や三角形などの形を自由に構成し、グラデーションを使用して着色する。 着色時にはマスキングテープを使用する。 相互鑑賞	○	○	○	○	a:関心を持って構成に取り組んでいるか。 b:自分なりのイメージを大切にし、よりよい構成にしようと工夫しているか。 c:正確にグラデーションが使えているか。マスキングテープによるハードエッジ技法が使えているか。 d:構成や色彩の工夫により、いろいろな表現が出来ることを鑑賞を通して理解しているか。	制作の様子 アイデアスケッチ 制作中の作品 作品
	詩のレタリング作品	・自分の選んだ詩をレタリング作品にする。 自分が作品にしたい詩を選び、明朝体で表現する。 文字の配置や色彩の効果も考えて、自分の詩にふさわしい作品を制作する。 相互鑑賞	○	○	○	○	a:詩を通して、どんなメッセージを伝えるのかを考えて作品に取り組んでいるか。 b:自分の詩にふさわしい画面を発想し、構成できているか。 c: 文字の配列や色彩による効果を十分に使用して表現できているか。 d:それぞれの詩が持つ多様なメッセージを理解し、鑑賞できているか。	制作の様子 アイデアスケッチ 制作中の作品 作品

2学期	針金立体作品	・針金を使って生き物を立体作品として表現する。 自分が作品にしたい生き物の、体形の特徴をつかみながら、針金で表現する。 太さの違う針金を組み合わせ、ラジオペンチを使って組み立てる。 相互鑑賞	○	○	○	○	a:立体作品にしたい生き物について、資料を用意し、特徴を調べているか。 b:針金で表現するために、体の特徴や構造をよく理解し、どう針金を使うのがいいのか、創意や工夫を凝らしているか。 c:針金の特質をうまく活かしているか。用具を使いこなしているか。 d:鑑賞することで、お互いの表現方法の違いを理解し、立体表現の面白さを感じることができたか。	制作の様子 制作中の作品 作品
	日本をテーマにしたポスター作品	・自分が住んでいる日本という国について、自分が良いと思うところや、問題だと思う点をテーマにして、ポスター作品を作る。 日本という国に対して、自分が普段何を感じているのかを考える。 それをテーマにして、どんな形で作品にするのか、また作品を見る人に、自分の思いをしっかり伝えるには、どうすればよいのかを考える。 アイデアスケッチを作りながら構想をまとめる。 相互鑑賞	○	○	○	○	a:関心を持って動物園作りに取り組んでいるか。 b:個性的な発想が出来ているか。発想を形にするための創意や工夫をしているか。 c:透視法を使えているか。色彩や表現技法を的確に使えているか。 d:各人の発想の違いや表現の違いを理解し、発想の面白さを楽しめたか。	制作の様子 アイデアスケッチ 制作中の作品 作品

3学期	スクラッチ	・人物の顔写真をもとに、本人そっくりにスクラッチ技法で表現する。 　作品にしたいと思う有名人の顔写真を選ぶ。 　スクラッチボードにスクラッチペンを使用する。 相互鑑賞	○		○	○	a：関心を持って作品に取り組んでいるか。 b： c：スクラッチ表現の特性をよく理解しながら制作しているか。 d：スクラッチ表現による独特の写実表現をよく理解し、鑑賞しているか。	制作の様子 制作中の作品 作品
	切り絵	・切り絵の下絵を作成し、黒画用紙に貼り付け、下絵ごとカッターナイフで切り抜く。 　切り絵の特質を理解して下絵を作る。 相互鑑賞	○	○	○	○	a：意欲的に作品に取り組んでいるか。 b：切り絵の特質をよく理解しながら、下絵を作成しているか。 c：上手くカッターナイフが使えているか。 d：切り絵表現の特質を理解し、絵画とは違う表現による美しさを鑑賞しているか。	制作の様子 制作中の作品 作品